令和４年11月22日

郡市区等医師会長　　様
診療所・病院の会員　様

大阪府医師会長
高　井　康　之
（公印省略）

今冬の診療対応に関して
（季節性インフルエンザの同時流行を見据えたご協力方お願い）

平素は本会活動の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応は、来年１月で４年目を迎えます。この間、貴職ならびに会員医療機関におかれましては、日常診療と並行する形で、新型コロナウイルス対応、ワクチン接種等にご尽力いただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

さて、ご承知の通り、今冬は新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が懸念されています。国の事務連絡を見る限りでも、今夏の第７波を上回る新型コロナ陽性者、発熱患者の発生が想定されており、府内の新規陽性者数も増加傾向にあります。

府内では、貴院をはじめ、約２，９００以上の診療・検査医療機関で発熱患者をご対応いただいているところです。この第７波のピーク時においても、医療機関における新型コロナの検査件数や、自宅療養者等への診療実績は過去最多を記録したとお聞きしています。

上記のような実績を踏まえますと、大阪府内においては、診療・検査医療機関の指定有無に関わらず、多くの医療機関が新型コロナや発熱患者対応を実施しているものと考えられ、この点は折に触れて大阪府の専門家会議等で伝達しているところであります。

新型コロナの新規感染者数に増加傾向が見られる中、インフルエンザ（疑い）の患者からの相談や受診希望も増加するものと思われます。本会としましては、各医療機関において、かかりつけ以外の発熱患者につきましても、引き続きご対応いただきたいと考えております。国の方針もあり、自己検査で新型コロナ陰性となった発熱患者が多数生じることを想定しますと、診療・検査医療機関の指定有無に関わらず、更に多くの医療機関で発熱患者をご対応いただくことが、今冬は更に重要になってくるものと考えます。各種行政からの支援メニューも参考に、対応可能な時間帯についても再度ご検討賜りますれば幸甚に存じます。

各医療機関には個別のご事情がおありかと存じますが、この難局を乗り切るべく、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

大阪府医師会・地域医療１課
（TEL：06-6763-7012）